

特定非営利活動法人 JIPPO

2018(平成30)年度 事業活動報告

2018年4月1日から2019年3月31日まで

1. 2018年度を振り返って

2018年度は、スリランカでの事業を重点に置き、2年目となるウバ地方の紅茶生産者によるハンドメイド・ティーの開発事業を進めるとともに現地を訪問するスタディツアーを2回実施しました。

ハンドメイド・ティーの開発事業は、スリランカで植民地時代から続くプランテーションによる紅茶生産とは異なる、小規模自営農民が組合を組織し独自の紅茶加工施設を持つ「脱プランテーション」の紅茶生産です。プランテーションの補完的立場でしかなかった茶の小規模自営農民と、閉鎖的なプランテーションの中で貧困生活から抜け出せない茶園労働者が共同して紅茶を生産します。スリランカで紅茶の生産が始まって約150年、国内で例を見ない村落レベルの新たな試みといえます。近年スリランカのプランテーション産業が斜陽傾向にあるなか、手づくりの小規模な紅茶は有機栽培や自営農家のオリジナル性、顧客の要望に応じた多種生産、フェアトレード等によって付加価値を付け、ルーラルツーリズムとあいまって地域の茶業振興に繋がることを期待できます。

JIPPOは現地の駐在もおらず出張ベースで活動している事に加え、カウンターパートや農家は前例の無い事業を行うことに不安もあり、普段の生業の合間を縫って活動を進めているためすべてにおいて時間がかかります。そうした中でもスタディツアーの紅茶づくりワークショップは回を重ねるごとに段取りも良くなり、出来上がる紅茶もより美味しくなりました。2019年2月に実施した際は、ゴールデンリングと呼ばれるウバならではの美しい色とすっきりとした香りの紅茶に仕上がり、カウンターパートにとってビジネスの期待が高まると同時にマネジメントや施設の課題も見え、大変よい機会になりました。

スリランカの民族間差別をなくし貧困問題を解決するため、民際協力を推進するJIPPOらしさを発揮し、地域発信型のパイロット・モデル事業になるよう進めていきます。

2. 事業活動内容

(1) 海外支援事業

事業名	スリランカ ウバ州 ハルドウムツラにおけるハンドメイド・ティー（ワングディ・ペコー）開発事業（継続）
実施地	スリランカ ウバ州 バッドウラ郡 ハルドウムツラ地区
期間	2018年4月1日～2019年3月31日
受益者	地区ウバ紅茶生産者団体 Uva Kuda Thea Wattu Govi Samitiya のメンバー15世帯および雇用者
内容	<u>事業の背景と前年度までの進捗</u> JIPPOは2013年にJICA「次の一步」プログラム助成を受け、ウバ紅茶の小規模自営農民の現状を調査した。小農民は茶に関する知識、栽培技術に欠け、紅茶生産者として非常に脆弱であるにも関わらず、国の農業政

	<p>策、支援は行き届いていない。これを踏まえ、2017年2月、小規模自営農民育成事業として、手づくり紅茶の商品開発支援を開始した。生産者団体を立ち上げ、手づくり紅茶「ワングディ・ペコー（すり鉢紅茶）」の開発を開始。グリーンティー（煎茶）や紅茶を使ったケーキなどを開発。</p> <p><u>今年度の活動と成果</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地出向による調整業務（4月16日～5月12日、9月8日～9月15日、2019年3月2日～3月18日）。 ・試作を繰り返し、ハンドメイド・ティーの製造方法を確立し、良質の紅茶を作ることが可能になった。 ・5月、専用の乾燥機の設計と製造（発酵した茶葉に熱を加えて発酵を止める行程に使用する）を発注。2019年2月のスタディツアーにあわせて設置した。また乾燥機を稼動するのに必要な電力を確保するため、電力局へ電力使用量増加を申請し、三相交流の送電線と電気配電盤の設置工事を開始した。 ・2回のJIPPOスタディツアーのほか、観光客に手づくり紅茶のワークショップと茶園の見学をセットしたルーラルツーリズム（農村体験）のプログラムを提供した。
--	---

(2) スタディツアーの企画・実施

① スリランカ スタディツアー

「歴史と暮らしに触れる旅～手づくり紅茶とホームステイ」

実施日：8月30日～9月7日

参加者：15名（事務局引率2名を含む）

大学連携：京都女子大学現代社会学部 国際理解プログラムの海外研修（単位認定）に採択。学生10名、教員1名が参加。

② 2019年春スリランカ スタディツアー

「知られざるスリランカ～歴史と暮らしに触れる旅」

実施日：2019年2月21日～3月1日

参加者：12名（事務局引率2名を含む）

大学連携：龍谷大学ボランティア・NPO活動センターの春季海外体験学習プログラムに採択。学生5名が参加。

(3) フェアトレード

ウバ紅茶（スリランカ・ウバ州 ハプタレー市 グリーンフィールド農園）およびカフェ・ティモール（東ティモール マウベシ 生産者組合ココマウ）の販売を継続。

売上額：¥2,229,577.－

(4) 国内災害復興支援（東日本大震災復興支援から事業名変更）

① 東日本大震災東京電力福島原子力発電所事故被災地における農地再生事業（菜の花プロジェクト）

南相馬農地再生協議会の参加および南相馬市内で生産する菜種油製品の販売促進活動を推進。

② 被災地の特産品販売（今年度は上記菜種油、福島県の物産を販売）

売上額：¥428,444.－

(5) 国内における貧困者への支援

野宿者および元野宿者の個別相談対応

きょうといのちのネットワーク、きょうと夜回りの会、東本願寺との連携、情報共有。
第24回餅つき大会運営参加（2019年1月19日）

(6) 環境問題に向けた取り組み

フェアトレード事業等における有機農業の推進等による環境保全。

(7) 啓発活動

- ① 九州地区門信徒の集い第34回仏教婦人大会 物産販売（5月29日、30日）
- ② 滋賀八幡別院 平和の集い 講演（7月2日）
- ③ 龍谷大学教養教育科目「ボランティアNPO入門」講義（7月20日）
- ④ 本願寺盆踊り物産販売（8月26日、27日）
- ⑤ あすのKyoto・地域創生フェスタ 京都府国際交流センターブース出展。活動紹介、物産販売（11月23日）
- ⑥ 第6回清水寺で世界を語る 運営参加。活動紹介、パネルディスカッション、物産販売（11月25日）
- ⑦ 御正忌報恩講バザー、活動紹介、物産販売（2019年1月12日、13日）

2. 組織・運営

(1) 職場定着支援助成金（雇用管理制度助成コース）、人材開発支援助成金（セルフ・キャリアドック制度）経過措置分助成金申請、受給。

(2) 理事会・会員管理

- ① 第1回理事会および第10回総会の開催（6月20日）
- ② 第2回理事会（役員改選）（7月13日）
- ③ 第3回理事会（2019年3月20日）

【会員数】（2019年3月31日現在）

正会員 136（個人126、団体10）

学生会員 9（個人9）

賛助会員 215（個人191、団体24）

合計 360（個人326、団体34）

以 上